

先生各位

No. 23-20  
2023年6月

## 新規受託項目および容器名称変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。  
このたび下記の検査項目につきまして受託を開始することになりましたのでご案内申し上げます。  
また、この新規受託に伴い容器No. 105の容器名称を変更させていただきます。  
今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

● 新規受託開始日 2023年7月30日（日）受付分より

● 新規受託項目

項目 コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値
3641	CMV核酸検出（新生児尿） 5F194-1440-001-890 <b>単独検体</b>	尿 0.2	105	凍結 (42日)	4~10	825 (微生物)	等温核酸増幅法	陰性

## &lt;備考&gt;

生後3週間以内に採取された新生児尿をご提出ください。依頼書に生年月日のご記入をお願いします。  
コンタミネーション（便を含む）の影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いにご注意いただき、他項目との重複依頼は避けてご提出ください。

## &lt;保険留意事項&gt;

先天性サイトメガロウイルス感染の診断を目的として、尿を検体として等温核酸増幅法により測定した場合に、1回に限り算定できる。

先天性サイトメガロウイルス感染の診断を目的として、当該検査と「D012」のウイルス抗体価（定性・半定量・定量）又はグロブリンクラス別ウイルス抗体価におけるサイトメガロウイルスを対象とした検査を併せて実施した場合には、主たるもののみ算定する。

裏面へ続く

## <CMV核酸検出（新生児尿）>

CMV（サイトメガロウイルス）は自然界に普遍的に存在するウイルスです。乳幼児期に広く不顕性感染し、生涯にわたり潜伏感染します。一方で、妊婦が初感染または再感染した場合や妊婦の免疫力低下により再活性化した場合、胎児に進行性の難聴などの神経学的な後遺症をきたすことがあります。

日本における先天性CMV感染児は、年間約3,000人とされています。CMV抗体（IgG）が陰性の妊婦のうち、1～2%が妊娠中に初感染し、そのうち約40%が胎児感染に至ります。感染児の20%が症候性、80%が無症候性として出生しますが、無症候性でも遅発性の後遺症が出現することがあるため、継続的なフォローアップが必要となります。

妊婦の抗体保有率が低下傾向にあり、CMV初感染リスクが高まっていることや感染児への早期介入・治療により予後の改善が見込めることから新生児に対する適切な診断を早期に行うことが求められています。

CMV核酸検出（新生児尿）は、先天性CMV感染が疑われる生後3週間以内の新生児を対象に尿中のCMVの核酸を検出する定性検査です。出生直後の感染と区別するために、生後3週間以内に採取した尿での測定が推奨されています。

● 変更実施日 2023年7月30日（日）受付分より

● 変更内容

容器No.	変更箇所	変更後	現行
105	容器名称	凍結用滅菌ポリスピッツ	Lamp専用容器

105	凍結用滅菌ポリスピッツ
	<p>貯蔵方法 室温</p> <p>有効期間 製造後1年</p> <p>適用検査項目</p> <p>マイコプラズマ核酸 検出（咽頭ぬぐい液） CMV核酸検出（新生児 尿）</p> <p>・咽頭ぬぐい液は、滅菌綿棒 で拭い、容器に綿棒を入れ て凍結保存してください。</p> <p>・他項目との重複依頼は 避けてください。</p>